

北浜駅(地下鉄堺筋線)③

船場のメインストリート・堺筋を歩く

北浜駅(京阪本線) なにわ橋駅(京阪中之島線) 堺筋本町駅(地下鉄堺筋線・中央線)

「大阪あそ歩マップ集」
その3 No.123

地下鉄・京阪北浜駅

①難波橋

難波橋は、天満橋・天神橋とともに浪華三大橋といわれる橋のひとつで、江戸時代は木製の反り橋で一筋西側に架かっていました。明治9年(1876)に鉄橋になり、明治45年(1912)に現在の位置に架け替えられました。天岡均一作の阿吽の獅子像が4隅にあるため、ライオン橋とも呼ばれています。

②大阪俵物会所跡

江戸幕府はオランダや中国・清との貿易決済に銀や銅を用いましたが、それらの産出量が低下すると、清貿易には干しアワビ、煎じナマコ、フカヒシなどを俵詰めにした俵物が決済にあてられるようになりました。その俵物を集荷したところです。



③三井呉服店

延宝元年(1673)に三井高利が江戸に呉服店・越後屋を開業し、その後元禄4年(1691)に大坂に進出しました。当初は高麗橋1丁目目で両替商と呉服店を興し、大塩の乱でいったん全焼しましたが、再興、明治になって高麗橋2丁目堺筋角に移転しました。かつての三越百貨店の場所です。

④くすりの道修町資料館

堺の商人・小西吉右衛門が道修

町1丁目に薬種問屋を開業してから薬のまちが形成されました。吉宗の時代に幕府公認となり、オランダや清から輸入される薬種を独占して取り扱いました。それらの資料が詳しく残っています。



⑤米喜跡

藩米を扱っていた米屋平右衛門(米平)の別家で酒を造り始めたのが米屋喜兵衛(米喜)です。享保2年(1717)、「沢の鶴」のはじまりです。

⑥泊園書院跡

讃岐に生まれた藤沢東咳が儒学を学んで、文政8年(1825)、大坂に私塾・泊園書院を開きました。明治以降も後継者が再興し多くの逸材を輩出しましたが、昭和24年(1949)に閉院しました。

⑦鳥屋町跡

八百屋町筋(堺筋の1本東の筋)の備後町から安土町にかけて鳥屋が集まっていたので、俗に鳥屋町と呼ばれていました。文鳥、鶏、鳩、七面鳥、孔雀などが売買されていたようです。

⑧白木屋呉服店跡

白木屋呉服店(のちの東急百貨

店)は寛文2年(1662)に江戸で開業し、大阪へは大正9年(1920)に阪急梅田駅に百貨店として進出しました。翌年に堺筋に大阪店を出店、昭和7年(1932)まで営業しました。堺筋は、高島屋、松坂屋が並び、まさに百貨店通りの時代がありました。

⑨りそな銀行(大阪野村銀行・大和銀行)

明治5年(1872)野村徳七が両替商・野村商店を設立し、大正時代には大阪野村銀行になり、やがて証券部を置き(のちの野村証券)、野村銀行が大和銀行と名前を改め、平成15年(2003)には、りそな銀行になりました。

地下鉄堺筋本町駅

